

輸送動向について(平成18年度上半期分)

平成18年10月

1. 輸送概況

上半期は7月に羽越線小岩川駅～あつみ温泉駅間で土砂流入災害が発生し、28日間に亘り同区間が不通となった。なお、この間、迂回列車の運転及びトラックによる区間代行輸送により2,289個の代替輸送を実施した。また、6月以降は各地で局地的な大雨に見舞われた他、2度の台風上陸等もあり、上半期全体では高速貨782本、専貨102本が運休した。

荷動きについては、輸送障害の影響を受けた他、全国的な日照不足・長雨などの天候不順が荷動きに影響したこともあり、低調に推移し、輸送量全体では前年比99.9%となった。

コンテナ貨物では、一部品目の輸送終了により減送となった化学薬品の他、ビールが減送となった食料工業品が前年を下回ったものの、北海道地区からの政府米の出荷が好調であった農産品及び堅調な出荷が続く自動車部品、紙パルプ等などが前年を上回り、コンテナ全体では前年比103.2%となった。

車扱貨物では、鉄鋼生産の好調により需要の伸びた石灰石及び化学工業品などが前年を上回ったものの、燃料転換などにより重油の減送が続く石油及び一部区間で輸送終了となったセメントならびにコンテナ化が進んだ紙・パルプなどが前年を下回り、車扱貨物全体では前年比94.6%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	上半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	11,264	10,914	103.2%
車扱	6,180	6,533	94.6%
計	17,444	17,447	99.9%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品	568	525	43	108.2%
	生野菜青果物	371	353	18	105.1%
	化学工業品	1,096	1,067	29	102.7%
	化学薬品	838	850	-12	98.6%
	食料工業品	1,740	1,751	-11	99.4%
	紙パルプ等	1,888	1,757	131	107.5%
	他工業品	803	774	29	103.7%
	積合せ貨物等	1,261	1,230	31	102.5%
	自動車部品	330	298	32	110.7%
	エコ関連物資	211	197	14	107.1%
	その他	2,155	2,113	42	102.0%
コンテナ計	11,264	10,914	350	103.2%	
車扱	石油	3,827	4,022	-195	95.2%
	セメント	406	608	-202	66.8%
	石灰石	393	329	64	119.5%
	車両	670	682	-12	98.3%
	紙・パルプ	175	267	-92	65.5%
	化学工業品	294	244	50	120.6%
	その他	405	382	23	106.2%
車扱計	6,180	6,533	-353	94.6%	
合計	17,444	17,447	-3	99.9%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)